

〒745-0034 周南市御幸通2丁目22  
 防長本社 Eメール bocho@chugoku-np.co.jp  
 中国新聞山口 Eメール chugoku@c-spice.co.jp  
 情報サービス URL http://www.c-spice.co.jp  
 ☎0834(33)5605 FAX0834(33)5610

# ホッと通信

## 教育・文化

入試に合格して、一緒に勉強している仲間なんです。教室には一番乗りで、最前列に座って講義を受ける。僕が教室に入ってくるなり、会釈しながら大きい声で挨拶してくださる。そして講義中も手を一番多く挙げて質問もたいへん多いです。僕や周りの学生は二人と仲良くも、なぜ大学生

# 以んたのやまぐち日記

⑥

僕は教員になったら、学生さんみんなの名前を覚えたいと思っていた。でも僕の講義は大学でも一番学生が多く、その考えを断念せざるを得なかった。でも、この二人に関しては違ふ。それは七十五歳の山本さんと六十五歳の高山士人さんです。見た目はお若いですが、二人は社会人

# 学べる幸せ かみしめて

## もう一つの図書館



イラスト・石井彩子

をやっているか誰も知らな郷が富士山のももであること。そこで、僕の講義時間をとから富士人と付けられた名使って、それぞれが歩んできた人生を語ってほしいとお願いしました。二人は少し照れくさそうにしながらも満面笑みで承諾してくれました。山本さんは戦時中に食べるものもなく苦労し、子ども時分に重病を患ったこともあって勉学を断念しました。それから万筆筆に惚れ込んで文房具屋さんを営んだり、保険業の仕事をしたりして子どもさんを立派に育てたそうです。高山さんは、お父さんの故

で、すくもてただろうなと思います。波瀾万丈の人生を歩んできたのですけど、ともに中学しか卒業できなかったことが心に引っかかっていたそうです。学校に行きたいという夢をかなえたくて定時制高校を卒業し、うちの大学に入学されたのです。この講義をきっかけに、二人は今まで以上に学生たちに囲まれています。一生懸命に生きることに、夢をあげること、人を教えること、スリランカでは2%程度ですが、日本は二人に一人は大学へ進むすく思われている国だと思ふ。でも意外と、大

これからは、社会人学生が増えてきてほしい。その時こそ大学が一番大学らしくなると思います。年配の方から学ぶことが多いという意味で、スリランカでは一つの図書館に例えたりします。二人がいるから、学生はもちろん、僕もいつもよい意味の緊張感を持って講義に臨んでいます。(県立国際文化学部講師 J・A・T・D. にしゃんた)

大隊長、中隊長、小隊長、鶴の編隊は基地の辺を翔ぶ。弘兼 安雄 つくばいの水飲むらしき野鳥がため朝水くむ真冬のみずを 貴船喜代子 満席の来客前に中庭の紅葉ま赤に燃ゆる「山賊」 藤尾 鈴子 姫路城お菊の井戸に投げ銭の積り鎮もる今は昔と 叶井 幸子 「いきいき」とう中、高年の雑誌持ち冬の一日を姪訪ねくる 徳本 長子 厳冬を擁に南天実を付けり何か良きことのある予感する 佐川紀実 天上に仕舞ひ忘れし八日月雲の衣は茫と隠せり 細川 勝利 包帯をしたる右手の人差指河野裕子の会話に動く 音羽 晃

草餅の重さをマフラーの愛たさよ 寒月や今宵老れるもの芽立つ野せけり 漆黒の闇より火 瀧し鮎のうぐ着かな 瀬戸風の日 草餅や父母のに生きて 四半分冬至南

◆横浜短歌会(周南市) 折ふしに短歌のために辞書を引く解せぬ漢字のとけて嬉しも 兼田 昌子 吾が畑に育ちし大根しろじろと稲架にかけらる寒風の中 温品八重子 湯に浮かぶ黄色き柚子の肩にふれ心安らぐひと日の終り 小松セツ子 そのあとを継ぐ者なき果樹園の無農薬と蜜柑届きぬ 磯村 春子 寒波来しテント生活を憂いつつ世界の平和を祈る日々 浜田 ヨシ 肌を刺す寒風にマフラーを首に巻き家路を急ぐカラオケ帰り 河村 恵子 夕暮れて帰り来し時箱話

◆光文芸川のんびりと手仕舞風呂 かずら橋落ち 嫉む 勇気ある善か 最後だからも お酒 食事終え最後 ーッス もつたない 母の癖 披露宴最後を 謝辞 人生のわたち 終巻は介護の 終いの家決め が咲く 消しゴムの上 丸くなり 閉店の際に 財布